

まちの話だい

11月28日 | おしゃれに風邪予防

川根児童館で、オリジナルのマスクを作る教室が開かれ、小学生6人が挑戦しました。

子どもたちは、彫刻刀や爪楊枝で消しゴムのスタンプを制作。思い思いのインクを付けてマスクをデコレーションすると、世界にひとつだけの可愛いマスクが完成しました。参加者は、互いのマスクを自慢しながら付け心地を確認し、風邪の季節に備えていました。



11月23日 | 選手の跳躍力に歓声

速く走るコツを伝授する「走り方講座」が、小学生30人を対象に陸上競技場で開かれました。

指南役は、陸上男子200mの障害日本記録保持者の秋本真吾選手。秋本さんは、速く走るための姿勢や腕の振り方などをポイントに挙げ、子どもたちの走り方を観察しながらアドバイスしました。講座の終盤には参加者全員で競走し、それぞれが練習の成果を確かめました。



トピックス

時之栖が大井川散策絵図を寄贈

川根温泉ホテルの指定管理者(株)時之栖^{ときのみか}から、同社が企画・制作した村松昭・散策絵図シリーズ「大井川散策絵図」3,000部が島田市に寄贈されました。

この絵図は、大井川源流から河口までの全長168kmの風景を長さ3mに収めた鳥瞰図で、流域に生息する動植物などが生き生きと描かれています。同社^{しょうじ}会長の「観光や教育に役立ててほしい」との意向から、市内の小中学校や図書館、観光施設などへの配布を予定しています。





11月29日 | 古里の恵みを満喫

川根ふる里ふれあいまつりが、約20年ぶりに会場を川根文化センター「チャリム21」に移して開催されました。

テーマは「お茶と温泉とSLの里」。出展ブースエリアでは、地場製品の展示・PR即売が行われたほか、足湯も設置。ステージでは、丸太切り大会や地元有志によるエイサーの披露などが行われ、家族連れなどでにぎわいました。

11月7日 | 地域の魅力を市民が発信

本通三・四丁目とおび通りを会場に、市内の企業や商店、組合など約100団体が地域産業を紹介する「島田産業まつり」が2日間催され、大勢の人でにぎわいました。

会場では、国際交流フェスティバルや親子木工教室など多彩なイベントも開催。また、市民が突然ダンスを始める「フラッシュモブ」が繰り広げられ、来場者を楽しませました。



11月21日 | 目指すはT-1博士

子どもたちに美味しい日本茶について知ってもらい、「おもてなしの心」を育んでもらうことを目的に「T-1グランプリ in 金谷」が、大井川農協五和支店で開かれました。

今年は51人の小学生が「茶^{ちや}ンピオン」を目指し、真剣な面持ちで筆記・種類当て・淹れ方の競技に挑戦。地元の基幹産業である茶業について、理解を深める機会となりました。